

おおいた姫島ジオパーク推進協議会 一般社団法人 姫島エコツーリズム 株式会社 ブレーンネット

～令和5年11月23日(木) 訪問～ 【姫島村】



姫島は大分県の北部に位置し、周囲17km、約1,700人が暮らす離島です。古事記や日本書紀に記述があるなど長い歴史を持つ島であり、全域が瀬戸内海国立公園に指定されるとともに、「火山が生み出した神秘の島」をテーマとして平成25年には日本ジオパークに認定されています。

姫島村の観光や商工業の発展にご尽力いただいている皆さんにお集まりいただき、それぞれお話を伺いました。

「おおいた姫島ジオパーク推進協議会」は、おおいた姫島ジオパークの普及啓発、保全、教育活動等に取り組みされており、フェリーで島内を一周してジオサイトを見学する「ジオクルーズ」やエコカーで巡る「ジオツアー」等のイベント、こども向けの現地学習会などを開催しています。また、観光客等を案内する「ジオガイド」の養成にも力を入れているそうです。

「一般社団法人姫島エコツーリズム」は、超小型電気自動車を活用した地域活性化と低炭素社会の実現を目指す取組を進められています。島内に設置した太陽光発電のみを電源とする小型EV用充電ステーション「青空コンセント」と電気自動車を用いた観光ツアーや島内交通確保の取組は、令和5年「第13回EST交通環境大賞」において大賞となる国土交通大臣賞を受賞するなど、高い評価を得られています。

対 話 風 景



姫島村では、村外への人口流出が続くなか、IT環境を整備することにより企業立地を進め、村の活性化及び人口増を図るために「姫島ITアイランド構想」を策定し、旧姫島村小学校校舎を活用した「ITアイランドセンター」を整備しています。

東京都でIT人材派遣事業等を行う「株式会社ブレーンネット」は、この取組に呼応して、平成30年にサテライトオフィスを設置されました。現在では、社員7名のうち姫島村から4名を雇用するなど、働く場の提供と地域の活性化に寄与されています。

懇談では、それぞれの取組の経緯や課題等についてお聞きするとともに、多くの姫島の魅力について伺いました。また、少子高齢化に伴う医療体制の確保や交通アクセス向上のための次世代モビリティの導入などについて、様々なご意見、ご要望もいただきました。

これまで、姫島の皆さんは様々な苦難に会いながらも、チャレンジ精神で乗り越えられてきた歴史があるので、今後も、特に姫島の将来を担う若い方ががんばってもらって、姫島を盛り上げていっていただきたいとお伝えしました。